



○美術館のシンボルの1つである円形ドームの天井

美術館で唯一、ビ

利用しや
なって

富山県立

デオトークを採用

すく
いますヨ。

近代美術館



○連日にぎわう近代美術館の展示場

- 日本の美術
黒田清輝の芸術、佐伯祐三の世界など九巻。
- 西洋の美術
クロード・モネの世界、セザンヌの芸術、フランスのポスターなど十巻。
- 作家と作品
アンリ・マチス、ジョルジュ・ルオー、マルク・シャガール、パブロ・ピカソなど九巻。
- 日本美術の流れ（十巻）
- 西洋美術の流れ（絵画十巻）
- 西洋美術の流れ（彫刻、建築十巻）

スライド番組

▼やわらかな日のさし込むラウンジ

次に講座の開設ですが、これには二とおりあります。一つは企画展と関係のある作家や評論家に依頼して、企画展をいろんな角度から話してもらったもの、いま一つは現代美術を中心に広く美術一般についての特別講演です。

現在開催中の国際展に関連した講演会としては、次のものが予定されています。

- 七月十八日(土) 午後二時

講演も順次開催

- 東野芳明氏（美術評論家）
「現代美術の動向」とやまなウチをめぐって」
 - 八月八日(土) 午後二時
 - 宇佐美圭司氏（作家）
「今、表現の主題を問う」
 - 九月（期日未定）
小川正隆館長
「国際展をふり返って」
- これらは、いずれも一階ホールで来館者のみなさんを対象に行うものです。



富山県立近代美術館（富山市西中野）は七月五日に開館し、常設展「二十世紀美術の流れ」と企画展「富山国際現代美術展」で、その活動を始めました。

この美術館は、その出発点から「二十一世紀

を指向する美術館」を目標にしてきましたが、県民のみならず親しんでいただける「開かれた美術館」となるよう、普及活動にも数々の工夫をこらしています。

ビデオ、スライドが80種類

その第一は、ビデオテープと動的に放映する「ビデオ・トーク」と呼ばれるものです。来館



▲80種類のビデオ スライドを選択できるビデオ・ブース

者は、八十種類の解説番組（各巻十五分～二十分）をブース（学習用の小部屋）で台帳から番組を選び、自由に視聴できるようにしています。

このビデオ・トークは、国立民族博物館が世界で初めて開発したもので、美術館に採り入れたのは富山県だけです。

主な番組は次のとおりです。

ビデオ番組

- 常設展と関連して
ムーランルージュのロートレック、キュービズムの展開、マンズーの彫刻、シャガールの芸術など十一巻。
- 郷土の作家たち
福光時代の棟方志功、私と滝口修造、弧高の陶芸家石黒宗磨など九巻。

近代美術館の主な収蔵美術品

●20世紀の美術の展望

区分	作者	題名	制作年	種別
絵	パブロ・ピカソ	広場の入口	1900	パステル
	パブロ・ピカソ	肘かけ椅子の女	1923	油彩
	パブロ・ピカソ	静物	1941	油彩
	アンドレ・ドラク	褐色の座標婦	1929	油彩
	ジョルジュ・ルオー	パッション	1943	油彩
	マルク・シャガール	山羊を抱く男	1925	油彩
	前田寛治	黒衣の婦人像	1925	油彩
	ジャック・ヴィヨン	フラジョレットを吹く男	1939	油彩
	マックス・エルンスト	森と太陽	1927	油彩
	ジョアン・ミロ	パイプを吸う男	1925	油彩
	ジョアン・ミロ	浜辺	1933	コラージュ
	ポール・デルボー	夜汽車	1947	油彩
	岡本太郎	赤い兎	1949	油彩
	フランシス・ベーコン	横たわる人物	1977	油彩
	パウル・ヴンダーリッヒ	黄色い十字のある少女	1971	油彩
	トム・ウェッセルマン	スモーカー	1978	油彩
	麻生三郎	ずわった人	1972	油彩
	ピエール・スーラージュ	絵画	1966	油彩
	ジャスパール・ジョーンズ	消失Ⅱ	1961	油彩
	ヴィクトル・ヴァザリ	シリウス	1966	油彩
版画	斎藤義重	作品No. 6	1960	油彩
	吉原治良	作品	1969	油彩
	山口長男	聚	1965	油彩
	荒川修作	意味もしくは仮定	1974	油彩
	菅井汲	パリエーションB78	1978	アクリル
	トゥールーズ・ロートレック	彼女たち	1896	リトグラフ
	パブロ・ピカソ	貧しき食事	1904	エッチング
	アンリ・マチス	ジャズ	1947	ステンシル
	ジョルジュ・ルオー	ミゼレーレ	1948	リトグラフ
	マルク・シャガール	バイブル	1956	エッチング
彫刻	マックス・エルンスト	博物誌	1926	コロタイプ
	ジョアン・ミロ	ミロへの讃歌	1973	リトグラフ
	ダビット・ホックニー	髪を梳かすアン	1979	リトグラフ
	アンディ・ウォーホル	マリリン・モンロー	1967	シルクスクリーン
	ブリジット・ライリー	19のグレー	1968	シルクスクリーン
	浜口陽三	カラー・メソチント	1978	メソチント
	ジャン・アルプ	鳥の骨格	1947	ブロンズ
	マリノ・マリニ	ある構想のかたち	1965	ブロンズ
	ジャコモ・マンズー	着衣の少女	1978	ブロンズ
	ジョージ・シーガル	ドアにもたれる女	1971	石膏
フィリップ・キング	グリーン・ストリーマー	1970	鉄板	

区分	作者	題名	制作年	種別
その他	フェルナン・レジェ	誕生日	1950	タヒチー
	アレクサンダー・カルダー	小さな銀河	1973	鉄板・針金
	アントニオ・タビエス	木とひも	1973	木・ひも
	アルマン	ヴァイオリンの凝結	1971	ポリエステル
	加納光於	アララットの船	1972	木箱・磁器各種

●日本の美術

区分	作者	題名	制作年	種別
絵	小杉放庵	立山と仙人		日本画
	望山南風	慈眼		日本画
	奥田元宋	剣岳	1966	日本画
	藤島武二	山上の日の出	1934	油彩
	鈴木信太郎	四季花の静物	1951	油彩
	鈴木信太郎	静物		油彩
	児島善三郎	初夏	1960頃	油彩
	斎藤真一	池のまわりで	1971	油彩
	浜田庄司	壺		陶
	工芸			

●郷土にゆかりのある作家

区分	作者	題名	制作年	種別
絵	郷倉千鶴	武蔵野の三角畑	1926	日本画
	石崎光瑤	晨朝	1939	日本画
	蓋牛人	詞梨諦母		日本画
	郷倉和子	真昼	1959	日本画
	郷倉和子	楽園	1963	日本画
	下田義寛	白い宙	1971	日本画
	金山康喜	静物	1958	油彩
	前田常作	人間地図No.2	1961	油彩
	南桂子	歳時記シリーズ	1974	油彩
	棟方志功	祝進十大弟子	1939	木版
彫刻	横江嘉純	美貌		ブロンズ
	佐々木大樹	心象	1965	木
	松田尚之	女性	1957	ブロンズ
	山崎覚太郎	不動	1976	漆
工芸	横山白汀	鎮魂歌	1970	漆
	石黒宗麿	失透釉鉄流文壺	1943	陶
	石黒宗麿	人物文壺	1943	陶



▲ 美術についてじっくり研究できる図書室

また、講座は主に県内の作家や評論家から郷土美術について話してもらうもので、聴取者との対話形式も考えています。

三つめは、美術館付属の図書閲覧室です。ここでは、美術についての知識を広げ、作品の鑑賞に役立てていただけるよう、約五千冊の蔵書から一般的な美術書を公開

します。蔵書のなかには山崎覚太郎氏寄贈の図書も含まれ、日展関係の資料などがほとんど完全に整っています。また、美術雑誌では芸術新潮や美術手帳、洋書では刊行中のピカソ全集などがそろっていますので、研究者が利用できるようなことになっています。

さらに、作品のより深い理解につながるよう、図書室では常設展や企画展に合わせたコーナーを設けたり、全国の美術館や

「友の会」会員募集中

美術を愛し、美術館活動を側面から支えてくれるファンの会、美術館「友の会」は七月十八日に発足し、会員を募集しています。

この会は、美術の鑑賞を通して会員相互の親睦をはかり、積極的に文化活動を広げて行こうと生まれました。会費は年間二千円で、企画展への年一回無料

招待を含め、全ての展覧会への優待や美術館ニュースの無料配布など、数多くの特典があるほか、講演会、映画会や美術評論家である小川館長と語る会への参加もできます。

入会の申し込みや問い合わせは、美術館普及課（☎富山21-7111内線28）へ申し出てください。

蔵書五千冊の図書館

また、講座は主に県内の作家や評論家から郷土美術について話してもらうもので、聴取者との対話形式も考えています。



▲ 開館前に展示物を視察する知事

料などの展示コーナーを設けるなど、居ながらにして美術界の動向がわかるよう工夫しています。

また、「相談コーナー」を設けて、週三回、学芸員が美術に関する相談に応じるようにしています。